

冷凍式エアードライヤーをご使用の皆様

2015年4月からチラーを含む冷凍空調機器の簡易点検・定期点検が義務化されています。
【フロン排出抑制法】 ご使用のエアードライヤーの冷媒(フロン)に注意が必要です。

R22 採用機器の メンテナンスに備え検討しておきませんか？

R22は2020年には実質全廃となります。

R22 が全廃になると・・・

冷凍回路の修理が困難になります

エアに水分が混じり
装置・エア機器の故障
製品の品質低下につながります

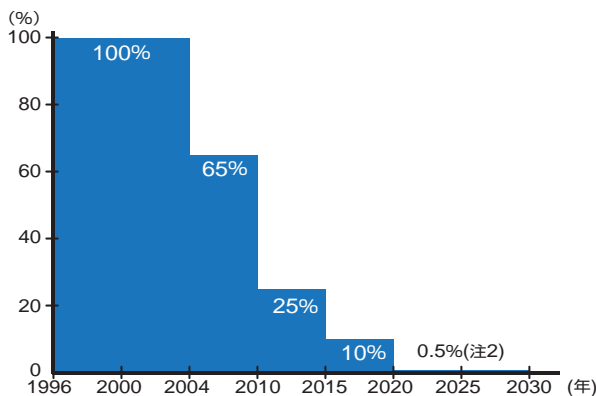
オリオン製エアードライヤーの対象製品

2003年以前にご購入頂いたエアードライヤーには当時主流のR22冷媒を採用している可能性があります。

【標準入気ドライヤー】	RAX-〇〇-B
【高温入気ドライヤー】	RAX-〇〇-B-SE
【大型ドライヤー】	RAX-〇〇-B 又は〇〇D, D-E, D-WE



R22消費量規制スケジュール(モントリオール議定書より)



1989年の消費量(生産量+輸入量-輸出量)

の実績を基準として

1996年1月1日以降	100%以下
2004年1月1日以降	65%以下
2010年1月1日以降	25%以下
2015年1月1日以降	10%以下
2020年1月1日以降	0%

(注1)生産量については、2004年より生産量と消費量の基準の平均を超えてはならない。

(注2)ただし、冷凍空調設備の補充用冷媒に限り、消費量の基準量の0.5%を上限として2029年までに生産が認められている。

☆基準量=(HCFCの1989年 {消費量/生産量})+(CFCの1989年 {消費量/生産量})×2.8%

2003年以前はチラーを含む温調設備の冷却はHCFC(R22)が主流でしたが、削減・全廃は政府間国際協定(モントリオール議定書:1987年)およびオゾン層保護法(1988年制定)に基づくもので、すでにCFC(R12, R502など)の生産は1996年に全廃されています。

オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。

R22冷媒ドライヤーから新冷媒(R134a、R407C、R410A)ドライヤーへ 更新をご検討ください。

オリオン機械はすでにR22対応製品から代替冷媒製品の生産・販売へ移行済みです。



省エネ (最大 60%)、コンパクト (体積比約 30%)、
使いやすさの追求

新モデルが続々登場 !!

感動を呼ぶ製品をめざして
ORION

13.09月版 A38
エアードライヤー-RAX-J

冷凍式圧縮空気除湿装置 特許申請中
RAX-Jシリーズ

40年培った実績を元にエアードライヤー専門メーカーのオリオンが
**小型・中型エアードライヤー
Jシリーズ 28種類ラインナップ!!**

Question
夏場にドライヤーは止まっていますか?
Answer
夏場でもノンストップ
高温環境対応

Question
熱交換器の特長は何ですか?
Answer
ステンレスシエル熱交換器
クリーンエアと圧縮空気の
オイルフリー時代にマッチした、
ステンレスシエルの熱交換器を採用しています。

周囲温度
45℃
でも運転可能
他社同機は40℃対応

感動を呼ぶ製品をめざして
ORION

70th Anniversary
16.05月版 A41
エアードライヤー 大型RAX-Jシリーズ

2016年4月より随時発売
冷凍式圧縮空気除湿装置
大型RAX-Jシリーズ

エアードライヤートップシェアのオリオンから
業界トップクラス処理空気量
大型 Jシリーズラインナップ!!

夏場でも止まりにくい
周囲温度 48℃ 対応

設置場所を選ばないコンパクト設計
体積比 DOWN 30%
設置面積 DOWN 30%

エアーコンプレッサの大風量化にマッチ
処理空気量 最大 10%UP

点検のご用命は下記へー



オリオン機械株式会社

http://www.orionkikai.co.jp

当社製品に関するお問合せ・資料請求は

産機営業本部 TEL 026-245-1321 FAX 026-246-6753
〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
E-mail: sankibu@orionkikai.co.jp

本社・工場 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246
更 埴 工場 〒387-0007 長野県千曲市大字屋代1291
千 歳 工場 〒066-0077 北海道千歳市上長都1051-16